

二期会WEEK@サントリホール2012 第二夜



J. Katayose (tenor)



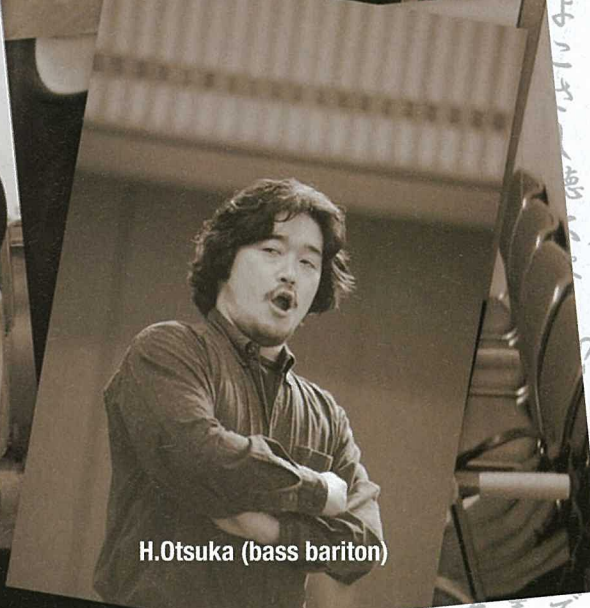
M. Joya (conductor)



K. Ikeda (mezzosoprano)



S. Kinoshita (pianist)



H. Otsuka (bass bariton)

ワーグナーからの挑戦状 ～ワグネリアン養成講座

2012.6.19(TUE) 19:00

“WAGNER?”

出演：池田香織(Ms) 片寄純也(T) 大塚博章(B) 木下志寿子(Pf)
(指揮/レクチャー)城谷正博 後援：日本ワーグナー協会

二期会チケットセンター

¥4500

受付電話 03-3796-1831 FAX 03-3796-4710

受付時間：平日10:00～18:00／

2回券¥8500

土曜10:00～15:00／日・祝休業

7回セット¥21000

ワーグナーへの挑戦～ワグネリアン養成講座～

2012年6月19日 (火) 19:00
サントリーホール
小ホール (ブルーローズ)

池田香織 (メゾソプラノ)

慶應義塾大学卒業。小山由美・高折續の各氏に師事。本年7月二期会公演『カヴァレリア・ルスティカーナ』ではルチア役で出演予定。定評のあるドイツオペラでは、シティ・フィル主催『ワルキューレ』『ローエングリン』にてフリッカ・オルトルートのアンダースタディ、新国立劇場では『タンホイザー』『ヴェーヌス』『ワルキューレ』フリッカ『ばらの騎士』オクタヴィアン『影のない女』乳母などのカヴァーをつとめ、新国立劇場トーキョーリング再演には、ヴェルグンデとして出演。近年では、あらかわパイロイト『パルジファル』クンドリー、名古屋ワーグナー管弦楽団(ジークリンデ・ブリュンヒルデ)などで好評を得ている。コンサートではP・シュライヤー指揮アンサンブル金沢「ヨハネ受難曲」「レクイエム」(モーツァルト)日本フィル・新日本フィル「ミサ・ソレムニス」(ベートーヴェン)などに出演。10月にはインバル指揮東京都交響楽団マーラー「交響曲第三番」に出演予定。二期会会員。

片寄純也 (テノール)

国立音楽大学卒業。97年オーチャードホール『椿姫』アルフレード役に抜擢され、外国人キャストと共演し好評を博す。『蝶々夫人』『ボエーム』『トスカ』『カルメン』『仮面舞踏会』『運命の力』『さまよえるオランダ人』等、数々の重要公演で活躍。二期会創立50周年『ニュルンベルクのマイスタージンガー』二期会公演『椿姫』などにも出演。2011年のコンヴィチニー演出『サロメ』にはヘロデ役で出演し、絶賛を浴びた。本年7月『パリアッチ』カニオ9月『パルジファル』パルジファルとこれからの二期会公演でも主役級での出演が予定されている。あらかわパイロイト『パルジファル』パルジファル、名古屋ワーグナー管弦楽団での『ジークフリートとブリュンヒルデ』ジークフリートでも好評を博し、新国立劇場でも『さまよえるオランダ人』エリックをはじめとするヘルデンテノールのカヴァーをつとめる。二期会会員。

大塚博章 (バスバリトン)

玉川大学芸術学科卒業。二期会オペラ研修所プロフェッショナルコース修了。第5回日本クラシック音楽コンクール最高位。第42回日伊声楽コンクール第3位。平成18年文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツ・ミュンヘンに留学。ヴォルフガング・ブレンデル氏に指導を受ける。二期会ではこれまでに『皇帝ティトの慈悲』『ジャンニ・スキッキ』『蝶々夫人』などに出演。最近では『魔笛』ザラストロ、『トゥーランドット』ティムール、『ドン・ジョバンニ』レポレッコなど主要な役での出演が続いている。今年9月の二期会公演『パルジファル』ではティトウレル役で出演予定。新国立劇場では『サロメ』『黒船』『ペレアスとメリザンド』『トスカ』『カルメン』に出演。ワーグナー作品では、オランダ人のカバールをつとめた他、『パルジファル』のゲルネマンツ、『神々の黄昏』のハーゲン役で出演し高い評価を得ている。コンサートでは「第9」「荘厳ミサ」「レクイエム」「メサイア」「天地創造」等のソリストを務めている。二期会会員。

城谷正博 (指揮)

東京生まれ。東京藝術大学作曲科、同大学院指揮科修了。作曲を野田暉行、川井学、黛敏郎各氏に、指揮法を佐藤功太郎氏に師事。二期会、新国立劇場の公演に音楽スタッフとして参加し、副指揮、コレペティートル、稽古ピアニスト、合唱指揮、ブロンプターなど劇場で必要とされるあらゆる音楽的業務について研鑽を積む。新国立劇場開場以来の多くのプロダクションに関わり、現在は音楽チーフとして同劇場の全演目に携わり音楽的責任を担っている。古典から現代に至る幅広い作品に精通しているが、特にワーグナーはその主要10作品をすべてレパートリーとして持つ希有な存在である。オペラ指揮者として2000年『フィガロの結婚』でデビュー、その後数多くの作品を指揮している。最近では日生劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』新国立劇場『椿姫』まつもとと市民オペラ『魔笛』を振り好評を博した。

木下志寿子 (ピアノ)

お茶の水女子大学文教育学部音楽科ピアノ専攻卒業。同大学院修了。2005～2006年ドイツに留学、ドレスデンのザクセン州立歌劇場において研鑽を積む。オペラコレペティートル、コンサートの共演ピアニストとして活躍している。これまでに二期会、新国立劇場等における多数のオペラ公演において音楽スタッフを務め、その成功に寄与している。特にドイツオペラ上演においては重要な存在であり、ワーグナーやR.シュトラウスの作品に数多く関わる国内有数のピアニストである。近年携わったワーグナー作品は、『さまよえるオランダ人』『ローエングリン』『ラインの黄金』『ワルキューレ』『ジークフリート』『神々の黄昏』『トリスタンとイゾルデ』。現在、新国立劇場ピアニスト、同劇場オペラ研修所講師、二期会オペラ研修所ピアニスト。

日本におけるワーグナーオペラ上演のパイオニアである二期会。数々のすばらしい日本初演実績を残された先輩に続く、日本人によるワーグナー上演の第二期を！

でかい・重い・長い！三拍子揃ったレパートリーに、ワーグナーオペラ上演の現場を熟知した城谷・木下の力を借りて3人が挑む！ワーグナー歌手の養成なるか？

ワーグナーって難しそう。長くてとっつきづらそう。そんな皆さんも、共にワーグナーを体験してみませんか？5時間を超えるオペラにはなかなか手が出なくても、ハイライトコンサートなら気軽に始められるかも？今回は特別にコレペティションとよばれるリハーサル風景もご覧いただき、どんな風に演奏の準備をしていくかもご覧にいきます。終わる頃には、オペラ全体への興味が抑えきれなくなってしまうかも！！

演奏予定曲目

《最終リハーサル》ワーグナーを歌うには
(城谷・池田)

“さまよえるオランダ人”3幕2場より
(Erik/片寄 Senta/池田 Holländer/大塚)

“ワルキューレ”2幕1場
(Fricka/池田 Wotan/大塚)

“ジークフリート”より「ノットゥング、魅惑的な剣よ！」
(Siegfried/片寄)

“ニュルンベルクのマイスタージンガー”より
「迷いだ！いたるところに迷いだ！」
(Sachs/大塚)

“パルジファル”2幕より
(Parsifal/片寄 Kundry/池田 Klingsor/大塚)